

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

○調査の目的

児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣の状況を把握し、体育・健康に関する指導の改善等に役立つ。

○調査期間

令和元年5月～7月

○調査の対象

小学校5年生男子・女子 中学校2年生男子・女子

○調査の内容

1 実技に関する調査

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
握力	kg	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	回	筋パワー、筋持久力	30秒間で上体を起こした回数
長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両足で左右側方に反復跳躍した回数
持久走(中学生)	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
20mシャトルラン(小学生)	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅跳び	cm	筋パワー、跳躍能力	両足で前方へ跳躍した直線距離
ハンドボール投げ(中学生)	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離
ソフトボール投げ(小学生)	m	巧緻性・投球能力	ソフトボール1号球を遠投した距離

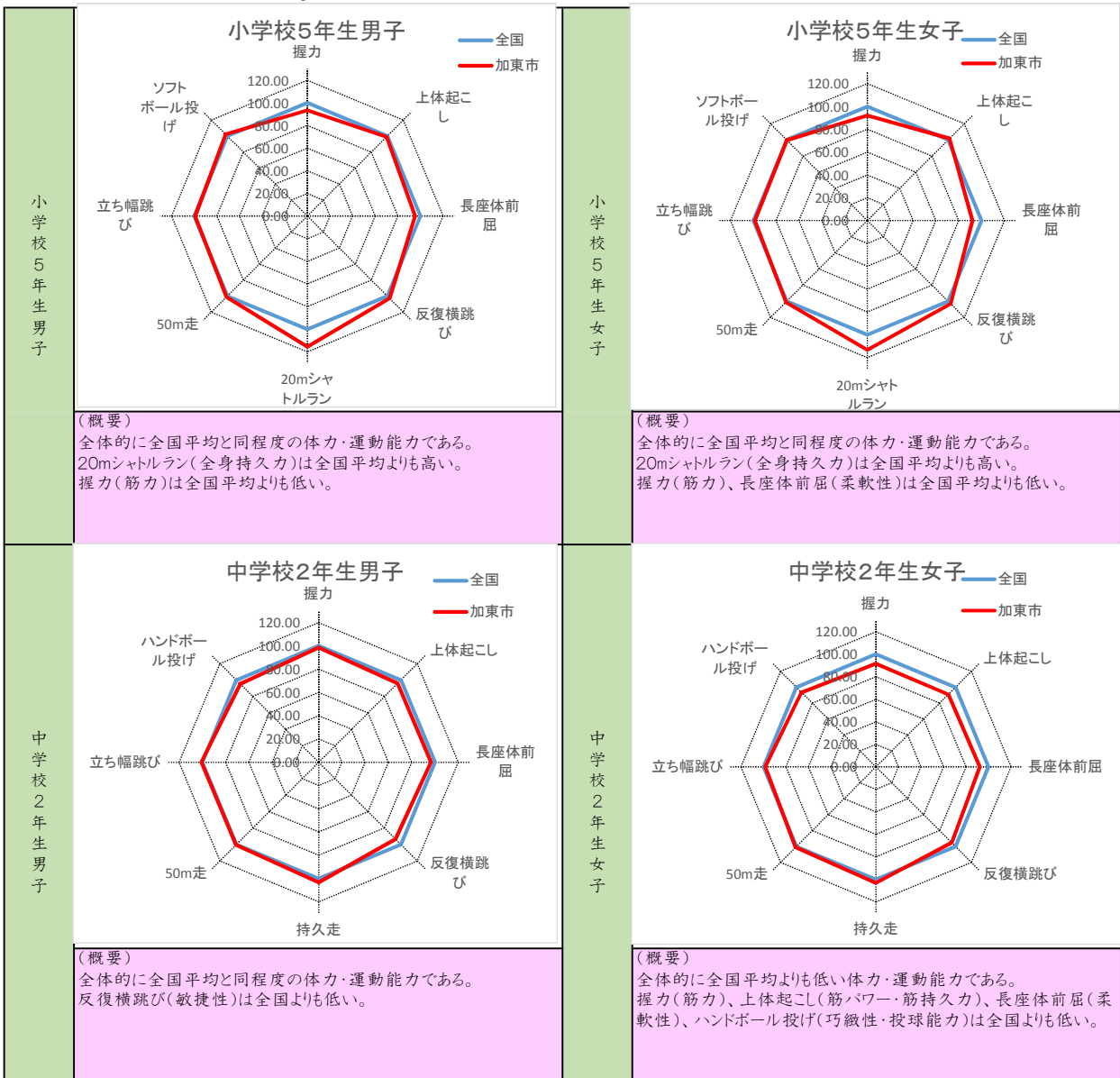
2 質問紙調査

・運動に対する意識に関する質問(3問) ・授業外の運動習慣に関する質問(1問) ・目標意識や自己肯定感などの意識に関する質問(4問)
 ・食事習慣に関する質問(1問) ・体育・保健体育の授業に関する質問(10問)

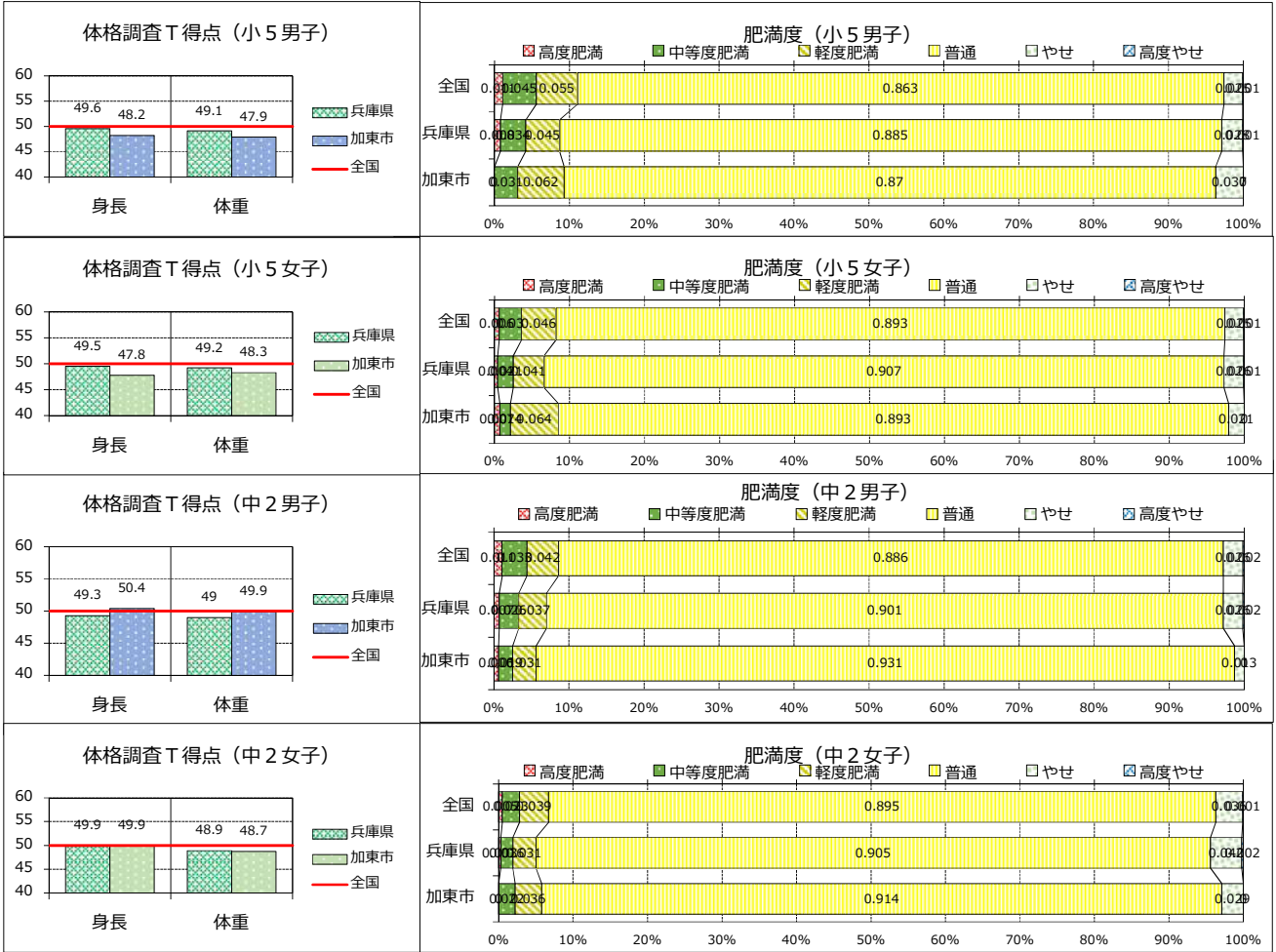
○調査の結果

1 実技に関する調査結果

※全国平均値を100とし、全国平均値との差が±0.0～5.0の場合は「同程度」、±5.1～の場合は「高い(低い)」とする。

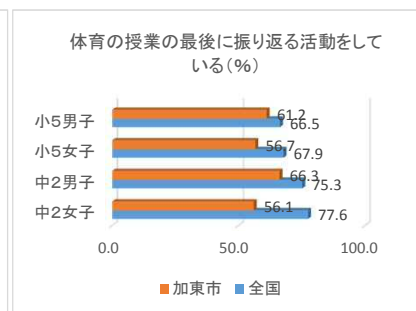
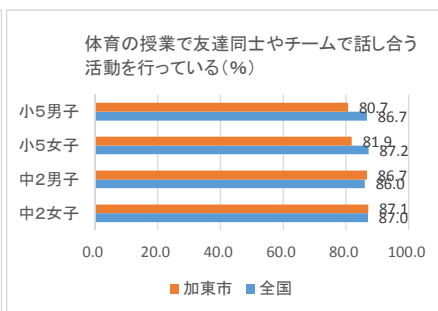
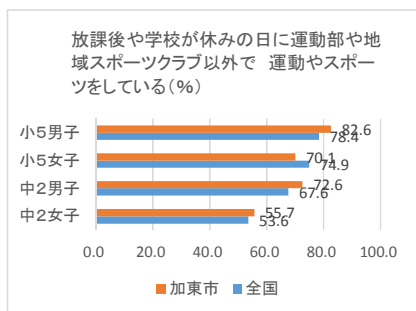
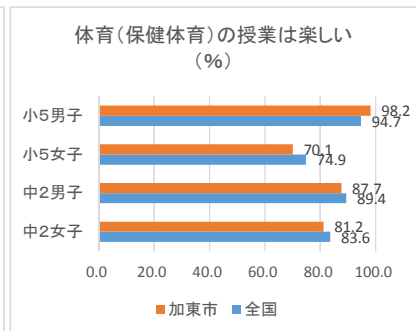
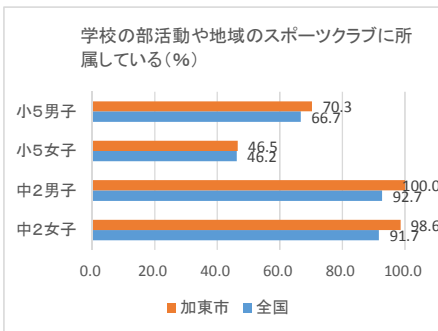
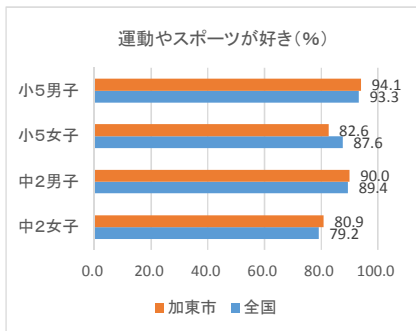


2 肥満傾向児・痩身(やせ)傾向児の出現率



3 質問紙調査結果

(概要)
 全国平均と比較して、加東市では、「運動が好き」と回答した児童生徒は同程度であるが、小学生女子のみ低くなっている。「学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属している」と回答した中学生の割合が高くなっている。体育の授業については、大部分の児童生徒が「楽しい」と回答しているが、体育の授業で友達同士やチームで話し合いを行っている割合で小学生が低くなっている。体育の授業の最後に振り返り活動を行っている割合は、小中学生とも低くなっている。放課後や部活動以外で運動やスポーツをする割合は、全国平均の傾向から見ても、女子より男子が高く、小学生から中学生になるにつれ低くなっている。



○ 体力・運動能力向上に向けた主な取組

- ・体力・運動能力テストの計画的実施(小・中学校)
- ・小学校水泳交歓会(5・6年生)
- ・水泳進級カードの活用と泳力の向上(小学校)
- ・中学校新人体育大会・総合体育大会
- ・中学校スキー教室(中学1年生)
- ・部活動外部指導者派遣事業